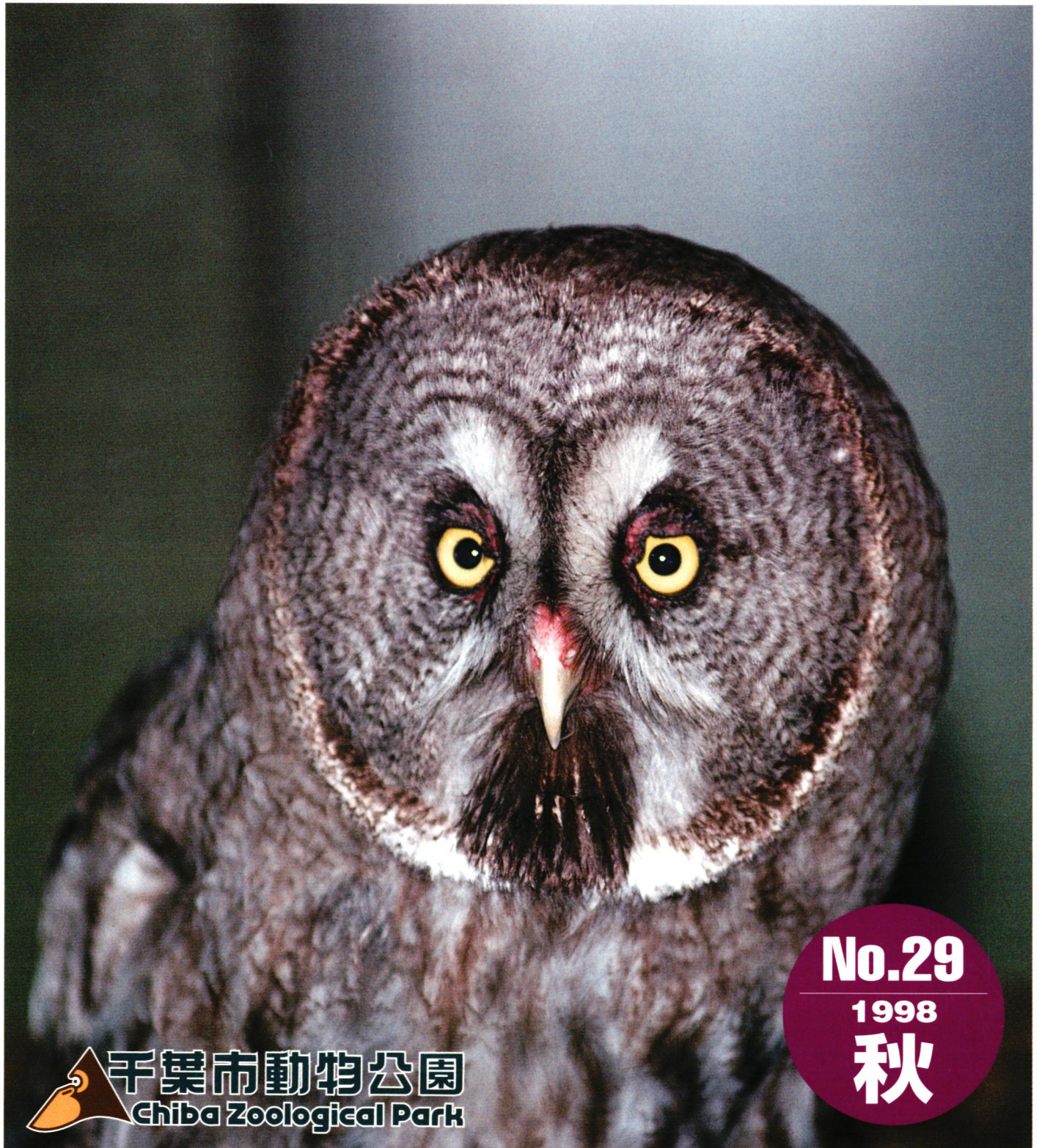


どうぶつこうえん ニュース



No.29

1998

秋

Topics

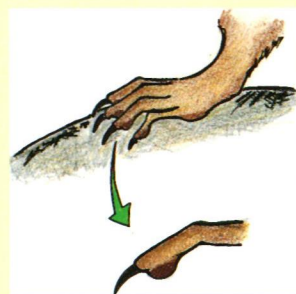
トピックス

キタリス 齧歯目リス科

背中から尾にかけて、暖かい季節には赤みがかった茶色の毛ですが、秋になるとその色は灰褐色に変わり、耳の先にもふさふさした毛を持ちます。

リスのなかまは、オーストラリアやマダガスカルを除く世界中に分布しており、大きく分けて、木の上を生活の主な場所とする「樹上生活」種と草原や岩場などを主な生活の場所とする「地上生活」種がいます。キタリスは典型的な樹上生活者で、木登りやジャンプが得意です。

キタリスは、ユーラシア大陸の北方の樹林地帯に広く分布し、北海道に生息する「エゾリス」はこの1亜種です。主に、木の実や種子、木の芽、果実などを食べます。野生のクルミのようにとても堅い実でも、種皮の接合部を鋭い門歯でかじり、そこから1周ぐるりと溝を掘り、まっぴらつに割って中身だけを食べるのです。



左前足の指

削りかすや殻はそのまま下に落としてしまいますから、食べ散らかしたあとはお世辞にもきれいとは言えません。

また、手足の指にそれぞれついている鋭いカギ爪は、しっかり樹皮をつかんですばやく樹上を走り回るのに便利です。そして、手の平や足のうらには分厚い肉球も備わっていて、動き回るときのクッションの役割を果たしたり、木の実を押さえるときにも役立っているようです。このカギ爪と特殊な形の肉球は、樹上性のリスに共通の特徴だということです。

ふさふさした尾は、樹上を走り回るときにバランスを保つのに大切です。尾の毛を立てて膨らませながら、止まり木をあちこち動き回る姿には、本当に「リスらしい」美しさを感じます。ただ、尾が濡れることをきらうようで、掃除中でまだ濡れた床に降りたりしますと、パツと急いで木に登ってしまいます。

現在、オスとメスのペアで飼育していますが、オスのほうが少し鼻先が白っぽい感じですので、簡単に見分けがつくでしょう。ただ、残念なことに、1度巣箱に入ってしまうと、なかなか出てきてくれませんので、餌の時間（だいたい午前11時ごろ）にあわせておいでくださると、きっと会うことができるでしょう。

並木 美砂子 (Misako Namiki)

目次

C O N T E N T S

表紙【カラフトフクロウ】	①
トピックス【キタリス】	②
特集【千葉市の鳥・コアジサシ】	③
飼育レポート【ムフロン】	④
こどもどうぶつえんへようこそ	⑤
動物公園の動物 w【アビシニアコロブス】	⑥
飼育よもやま話【モウコノウマ】	
動物公園日誌から【'98.4/1~'98.6/30】	⑦
編集後記	
裏表紙【ショウガラゴ】	⑧

表紙の動物説明 カラフトフクロウ

ユーラシアや北アメリカの亜寒帯の針葉樹林に生息する全長70~80cmの大型のフクロウです。夜間だけでなく昼間も活動し、主としてネズミやリスを獲物としていますが、ライチョウなどを捕らえることもあります。巣は大型猛禽類の古巣を利用し、3~4羽の雛を育てます。

フクロウの仲間は獲物を捕らえるため、暗くても良く見える大きな目や、かすかな音も聞こえる耳、羽音がしない翼など多くの特徴を持っています。

秦 舜二 (Shunji Hata)

動物飼育数

平成10年7月末現在
Classified number of animals
as of 31.Jul.1998

哺乳類	67種426点	両生類	1種 1点
鳥類	85種372点	魚類	1種 2点
爬虫類	4種 19点	総計	158種820点

「千葉市の鳥」コアジサシ



コアジサシの親子



一般的なコアジサシの巣

コアジサシは黄色い嘴に黒い帽子をかぶり、さながら白いツバメといった鳥です。蒼い空や海をバックに飛ぶ姿は美しく、初夏の風物詩となっています。コアジサシの名は、アジサシの仲間の内、最も小さいことから「小」アジサシと付けられました。英名でも同様の理由からLittle Ternと名付けられています。また、アジサシとは、この仲間が空中でホバリングをしながら狙いを定め、水中ヘダイビングをし刺すようにしてアジなどの小魚を捕らえることからつけられました。

北海道と東北の北部を除く全国に夏鳥として渡ってきて5月中旬頃から繁殖を始めます。営巣場所はもともと植物の生えていない川の中洲や砂浜で、深さ1cm程度穴を掘っただけの簡単な巣を作ります。1巣の産卵数は通常2〜3卵です。しかし、日本の経済発展に伴い沿岸部が開発され、全国其自然海岸が減るにつれて、営巣地も減少してきました。その結果、生息数は減少し、日本版レッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類に含まれています。

しかし、コアジサシにとって皮肉にも幸いだったのは、自然海岸が減っている代わりに、造成地が提供し続けられたことでした。自然の営巣地を失ったコアジサシは、埋立ての造成地や浚渫土を積み上げた丘の上を営巣地を選びました。現在国内の営巣地のほとんどが造成地で、自然地形での営巣地は全国に見ても九十九里浜など数えるほどしかありません。

造成地は危険防止のため一般的に立入禁止となっており、コアジサシが比較的安心して営巣できる環境が多いようです。しかし、釣り人の侵入やオフロードバイクの乗り入れなどにより卵がつぶされてしまう被害も少なくありません。また、造成地では造成されてから2年目までは営巣が可能ですが、3年目になると裸地であった場所が草で覆われてしまうために、コアジサシの繁殖には適さなくなってしまう。

戦後右肩上がりの経済成長に支えられて、日本各地で埋立てや造成工事が続けられてきましたが、長引く不況により今後これまでのような大規模開発は見直されるケースが増えてくると思われます。そうすると新たな造成地は見込めず、コアジサシの営巣地も減少していくことが予想されます。

千葉市美浜区の通称「幕張メッセ」周辺では、常設の駐車場の他に東京モーターショーのような大きなイベントのときだけ利用される仮設駐車場がいくつかあります。ここでは7年前よりコアジサシが営巣しています。東京モーターショーは秋に行われるため、5月から8月まではコアジサシ専用の繁殖地になっています。1つの土地をコアジサシと人が季節的に棲み分けている特殊な環境の場所といえます。

写真の仮設駐車場では1997年5月31日から8月2日までに599巣の巣と500番（つがい）以上の成鳥を確認しました。また、ここを含む千葉市沿岸部の営巣地全体では1000番以上が繁殖しています。日本国内では10000番くらいが繁殖しているといわれているので、千葉市沿岸部は全国の1割以上が繁殖していることになり、国内有数の繁殖地といえます。

仮設駐車場が営巣地として適しているのは、簡易舗装が施してあるため、草が生育しないことです。そのため営巣に適した環境が長年に渡って維持されている特殊な環境です。ここではコアジサシの他、シロチドリやコチドリも営巣しており、地上営巣性の鳥にとって重要な場所となっています。しかし、これらの仮設駐車場はあと数年で、住宅地等になることが計画されています。そこで仮設駐車場がなくなる前にコアジサシの恒久的な営巣地を確保することが急がれます。

千葉県立幕張総合高等学校教諭

早川 雅晴 (Masaharu Hayakawa)

ムフロン

“3つ子”～1度の出産で3人いっしょに生まれた子～

当園では、“ヒツジの先祖”といわれているムフロンを、現在雄10頭、雌15頭、合計25頭飼育しています。開園から13年間、これまでに75頭の子供が生まれ、その内、双子が9組生まれましたが、3つ子は今日現在誕生していません。しかし、今年の春、3頭の子を同時に母親ができたので、その事について話したいと思います。

母親の名は「アキ」。出産当日、アキは朝から様子が変わりました。ムフロンはヒツジ同様、群れで行動するため、いつもなら寢室から展示場へ、朝用意してある餌に向かって群れごと、一斉に飛び出していくのが普通なのですが、アキはひとりで餌も食べず別行動をし始めました。出産の近い雌によく見られる行動なので、今日あたり…と思っていたところ、夕方展示場で最初の子（雄）が生まれました。子供が生まれた時は、母親と子の健康を考え、群れとは別に飼育します。群れで行動するため、例えば、何かの拍子で1頭だけになってしまうと、パニック状態、とても落ち着きがなくなります。しかし、子を産んだ母親は違います。群れが移動しても、子供の側を決して離れようとはせず、子供を抱きかかえると、母親もいっしょについて来ます。こうして群れとは別の部屋（分娩室）に容易に収容することができます。

収容後しばらくすると、もう1頭子供（雌）が生まれ、双子だったのです。双子のため2頭とも小さく、ひ弱でした。（通常1子の場合：3kg、双子の場合：2kg程度で人間の子と同じ位です。）生後1～2日目の死亡率が17%（75頭中13頭死亡）と高いため、心配していたのですが、その後双子は起立し哺乳の動作が確認できたので、まずはひと安心できました。

別な母親（ナナ）のお産が始まったのは、それからすぐの事でした。しかし、ナナの出産は難産でした。途中でひっかかってしまった様子で、なかなか出てきません。このままでは子供だけでなく、母親の生命にも関わるので、助産夫をすることになりました。その介あって、母子ともに無事で雄の子供が1頭誕生しました。

先程の双子の親子と同じ部屋へ移動し、2つの親子をいっしょにしました。双子の親子は落ち着いていましたが、別の母親（ナナ）はかなり神経質になっている様子でした。

翌朝、子供達は元気に走っていましたが、少し様子がおかしいのです。最後に生まれたナナの子は、双子のお母さん（アキ）の後をついて回っています。何度か産みの親（ナナ）と子供を結びつけようとしたのですが、育ての親（アキ）の姿が見えなくなると、子供が鳴き叫び、

それにアキも反応して、すっかり絆ができていました。こうしてアキは3頭の子の母親となったのです。



アキと子供達

本来、近づいてくる子供の臭いを嗅ぎ、もし自分の子でなければ子供に頭突きをして、決して受け入れようとはしません。しかし、人為的でなくこうして産みの親と育ての親ができたのは、まず1頭が難産であったため母親（ナナ）がより神経質になってしまった事、さらには、ほぼ同時に出産があり、育ての親が双子を出産した事だと考えられます。

同時に3頭の子を世話するのは危険が伴います。ムフロンのお乳の数は2つ、子は3頭。子の栄養と母親の健康を考えて、人工哺育にしようとも考えたのですが、ムフロンの人工哺育はあまり成功例がありません。3つ子のお母さん（アキ）には子供達に栄養がとられないよう、餌を十分与え、新しい絆を信じてみる事にしました。

生後1ヶ月程経過して離乳し始め、草を食べる量も増えてきたので、晴れて群れの仲間達と合流し、お客さんの前にも登場する事ができました。

しかし、さらに1ヶ月経過した時、残念な事に、双子のうちの1頭（雄）が事故で死んでしまったのです。

残された2頭の子達には、死んでしまった子の分まで、元気に、強く育ててもらいたいと願っています。

中村 彰宏 (Akihiro Nakamura)
鈴木 克典 (Katsunori Suzuki)

こどもどうぶつえんへようこそ

Welcome to Children's Zoo

～子ども動物園で人気の教材紹介 ②～

シルエットクイズ

絵本タイプと大型クイズタイプの2つあります。絵本タイプは飼育センター展示室の中ほどのテーブルに置いてあり、だれでもいつでも自由に楽しむことができます。現在「初級編」と「上級編」の2種類があり、ページをめくるとカラーペーパーがきれいにカットされた、動物のシルエットが次々とでできます。

となりのページにはその動物について、主な生活場所や体の特徴のヒントが少し書いてありますので、それを手がかりに動物の名前をあてていくのです。上級編にもなりますと大人でもちょっと首をひねるシルエットがたくさんあり、答えを見て「なーんだ、やっぱりアヒルか。そうだったよ」「意外に難しいな」などいろいろな反応が聞かれます。

大型タイプは、団体に来園した子供たちへの楽しいクイズとして使っています。主に、幼稚園や保育所、小学校低学年のお子さんたちで、あらかじめ予約していただいた団体のかたへの活動のひとつとして使っています。

この大型タイプの利点は、その動物のシルエットを少しずつ出していった、どのくらい姿が見えてくるとわかるかをみんなで競えることです。耳の先端部分だけを見て、「ブタ！ライオン！」などすぐに手をあげて答えを言う子もいれば、「わかんない」と下を向いてしまう子、友達どうして「あれだよ、あれ、あれ」など相談している子、答え方にも個性が表れます。

だんだんと姿が表れると、「あれ、ブタじゃなくてカバみたいだ」「でも、耳が違う」と、さっきの答えを訂正したり少し自信をなくしたりする子もできますが、それまで黙っていた子が突然「カビバラだ！」と正解を叫ぶこともあります。中には、「ぼく幼稚園のとき、このクイズやったことあるよ」などと教えてくれる小学生も出てきましたから、そろそろ新しいシルエットクイズ大型版をリニューアルするべき時期がきたのかもしれない。



メニュー&レシピ

子ども動物園内の動物たちのエサについて紹介しています。写真や切り絵で、実際に動物園で用意しているエサの内容を知ってもらい、また、どうやって作るのか、絵などで説明しています。

同時に、野生で何を食べているのかもお知らせしています。レッサーパンダが野生ではタケやササを主食にしていること、動物園ではお米のおかゆを毎日与えていることなどを知ると、「へー、ベビーフードも役立っているんだね」「けっこう手間がかかるね」などの感想を持つようです。

固形飼料や干し草だけでなく、いろいろな野菜や果物、種子、煮干しなど50品目以上の食材が使われていることを知ると、中には「うちの食卓よりリッチだね」と、感心していらっしゃるかたもいます。

飼われている動物にとって、「食べる」ことは楽しみのひとつでもあります。動物園がそのためにどんな準備をしているのか、知っていただきたいと思います。



子ども動物園日誌より

- 母親がヒヨコを自分の子供の目の前に持ってきて、触らせようしますが、子供は見ているだけでした。そして、匂いをかぎました。(5月24日)
- 毛の白いモルモット（目が赤い）を抱いていた男の子「この目、イクラみたい」(6月27日)
- 係り「おててをパーにしてね」（と、女の子にハツカネズミを手に乗せてあげようとする）
女の子「いないいない、パー」（ネズミに向かって）(6月30日)

並木 美砂子 (Misako Namiki)



動物公園の動物…②③

The animals in the Chiba Zoological Park

アビシニアコロブス

サルの10軒長家（比較舎）の住人でありながら、ふるさとのアフリカでは人々に「神の使い」とあがめられているサルがいます。黒と白のツートンカラーが美しいアビシニアコロブスです。頭の上には黒い帽子のように毛を逆立てて、背中の黒毛は美しい光沢を放ち、体の側面から垂れ下がっている白い長い毛はあの有名な「スター」のステージ衣装のようです。このアビシニアコロブスは、ニホンザルに近い仲間（オナガザル科）です。しかしニホンザルとは際立って異なる特徴は、木の葉が主食であるという事です。こういったサルの仲間をリーフィーターと呼びますが、雑食性のサルとは異なり彼らの胃はいくつかの部屋に分かれていて、前の部分の部屋にはバクテリアが住んでいます。このバクテリアが普通ならば消化できない葉の繊維質（セルロース）を分解して吸収する事ができるのです。ちょうどウシのようですね。

アフリカの森林地帯で彼らは10～15頭位の群れをつくって木の上で暮らしています。性格はおとなしく、滅多に声を出しませんが、時々チューインガムを噛むようなクチャクチャという口音をたてます。これはアビシニアコロブス独特のコミュニケーションなのかもしれません。

アビシニアコロブスの群れは、子供が生まれると急に忙しくなります。生まれたばかりの赤ん坊は真っ白でしかも毛にカールがかかっていて小羊のようでとてもキュートです。群れの雌たちは（ときには雄も）競ってめんどろを見ようとします。抱いている赤ん坊の背中に手をそえて、優しくさすっている様子は、ほほえましい限りです。

千葉市動物公園には、キクユとコンゴの2亜種を飼育展示しています。ここで生まれ育った子供たちは、国内はもとより海外は中国へ、多くの動物園に巣立って行きました。あのエレガントな姿で多くの人たちを魅了していることでしょう。

横山 浩 (Hiroshi Yokoyama)



飼育よもやま話

Keeper's Episode

「モウコノウマ」

6月16日しばらくぶりに、お客さんの顔見えるよ。僕の名前は、「トメキチ」。昨日までは、みんなから見えない所にいたんだ。でもね、駐車場のすぐ上が僕の運動場だったからみんなの顔は見えなくても、声はよく聞こえていたんだ。それに毎日、飼育係さんからごはんもらっていたしね。でね、朝ごはんが終わると次に来るのは、獣医さん。1日1回は来るんだ！ 僕たちの健康状態を診て行くんだ（飼育係さんと、いつ

も少しないしょ話）。お昼頃になると、ゴミ屋さん？ が来て僕たちの糞や尿で汚れた敷藁を、毎日どこかに運んでいく。たまに、ゴミ屋さんのおじさんが、飼育係さんにないしょで、草を少しくれるよ。僕にとっては、おやつかな…！ あと、時々よその飼育係さんも来て、僕の飼育係さんは熱心に僕を見ながら説明してるよ。しかし、昨日は大変だった



んだ。前日の夕方からごはんは無いし、朝からギーギー音はするし。どうやら鉄パイプを組んで、僕が移動する通路にカベを作っていたらしい。で、朝ごはんはもらえないし、外にも出してくれない！ 午後になると、いっぱい飼育係さんの声が聞こえ、大きなかけ声と同時に僕の部屋の扉は開いた！ すぐに外に出ると扉は閉められ、いつもの通路は塞がれ、後はホウキや熊手を持った飼育係さんが大勢いた。僕はビックリして、何度か飼育係さんを蹴ろうとし、散々飼育係さんたちに突つかれ通路に出た。その後も、大きな声をかけられ通路を歩かされ獣舎の中に入れられた。しばらくしてから僕は、ごはんを食べた。それを見て、飼育係さんはほっとしたようだ。そんなこんなで、大勢の飼育係さんの協力によって、僕はお客さんと会えるようになったんだ。僕「トメキチ」をよろしくね！！

伊場 真彦 (Masahiko Iba)



動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'98年4月1日~'98年6月30日

- 4月 2日 キタリス (雄1, 雌1), 検疫明けで子ども動物園で
展示開始
オオサマペンギン他, 先月末で改修工事終了のため, 本日より展示再開
- 4月 3日 ホオカザリヅル (雄1, 雌1), 本日1時間程ペアリ
ングを実施
- 4月 5日 来園者1千万人達成記念式典実施
- 4月 6日 クロザル (1頭) 繁殖
カリフォルニアアシカ (雌1), 動物交換で新着
- 4月 7日 オオサマペンギン (雄1), 急性肺炎で死亡
- 4月20日 飼育課, 担当替え実施
- 4月21日 アビシニアコロブス (コンゴ) (雌1), 動物交換で
搬出
- 4月23日 オオカンガルー (2頭) 繁殖 (顔出し)
- 4月26日 「ワンポイントウォッチング」開催 (カラフトフク
ロウ) (講師 飼育課 伴野)
- 4月28日 ワタボウシパンシェ (雌1), 日立市へ寄贈
- 4月29日 パタスザル (雄1), 動物交換で新着
- 5月 3日 ハゴロモヅル, パドックで (雄, 雌) のペアリング
実施
- 5月 6日 アオエリヤケイ (雌1), 頭部打撲で死亡
- 5月 9日 「羊の毛刈りの実演」開催



- 5月10日 「愛鳥週間特別講演会」開催
—千葉市の鳥コアシサシー
(講師 千葉県立幕張総合高校教諭 早川 雅晴氏)
- 5月11日 本日, 外気温著しく低下する
- 5月13日 セイケイ (1羽), 死亡
- 5月14日 今年生まれのムフロンの仔8頭に, 耳標装着
- 5月15日 ハイイロコクジャク (雛1), 人工孵化
- 5月17日 「ゆかいな森の音楽会」開催
- 5月20日 東京農業大学学生 (渋谷君), 本日より学芸員実
習開始 (30日まで)
ショウガラゴ (雄1, 雌1), 東京都多摩動物公園

に寄贈

第103回関東東北ブロック動物園技術者研究会
に, 市川, 中村 (彰) 出席 (横浜市立金沢動物園にて)

5月21日

アミメキリン (雌1) 繁殖



- 5月24日 「ワンポイントウォッチング」開催 (カオムラサキ
ランゲール) (講師 飼育課 横山)
- 5月25日 マンドリル (雄1), 動物交換で新着
- 6月 2日 アミメキリンの繁殖について記者発表する
- 6月 4日 ゾウ繁殖検討委員会に, 浅野出席 (東京都多摩動
物公園にて)
オグロマーモセット (2頭), 繁殖
- 6月 5日 マカロニペンギン (雄1), 胸部腫瘍で死亡
- 6月10日 恩賜上野動物園こども動物園50周年記念シンポ
ジウムに, 宝川係長出席 (東京都美術館にて)
- 6月13日 「アニマルスクール」開催—動物の体温につい
て— (講師 飼育課 浅野)
- 6月14日 ヘビクイワシ (1羽), 自然孵化
カリフォルニアアシカ (ミュー) (1頭), 繁殖
- 6月19日 カルフォルニアアシカ (キキ) (1頭), 繁殖
- 6月22日 アカハナグマ他4種, 動物交換で搬出
- 6月23日 カンムリバト (雄1), 啄傷で死亡
- 6月27日 ゲルディモンキー (1頭) 繁殖, 人工哺育とする
- 6月28日 「ワンポイントウォッチング」開催 (カササギガン)
(講師 飼育課 足立)
- 6月29日 クロオビヒメアオバト (雌1) 死亡

小林 正典 (Masanori Kobayashi)

編集後記

夏です! 暑いですね。動物たちも木陰に涼を求め
じっと動かず夏バテ気味…? ただ今, 夏の一大人気
イベント「サマースクール」の準備でわれわれスタッ
フは大忙しのてんでご舞。この第29秋号が皆様のお手
元に届く頃には「サマースクール」も無事終わり季節
も暑い暑い夏から秋へと…, 動物たちも活発に動き回
っていることでしょう。次回発行予定は, 平成10年
12月1日です。
(白井 剛)



シ ョ ウ ガ ラ ゴ

